

後輩ができた若手・中堅職員のための観察力養成講座

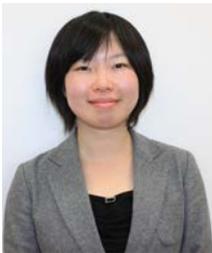
■講師



仲道 雅輝

(愛媛大学 総合情報メディアセンター兼教育企画室 助教)

日本福祉大学社会福祉学部卒業。熊本大学社会文化科学研究科教授システム学専攻博士前期課程修了。平成7年から日本福祉大学事務職員、平成23年より愛媛大学にてFD・SDや学生能力開発、授業コンサルテーションに携わる。研究課題は全学的eラーニング推進とICT活用教育の普及。専門は教育工学、インストラクショナル・デザイン(ID/教育設計)。



津曲 陽子

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特任助教)

九州大学教育学部卒業。同大学院人間環境学府修士課程修了、同大学院人間環境学府博士課程修了(博士(心理学))。九州大学研究戦略企画室学術研究員を経て、2013年1月より愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室・特任助教。専門は、社会心理学、大学教育学。現在は、大学間連携共同教育推進事業「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」(代表校:愛媛大学)において、学生のリーダーシップ養成に従事している。



久保 秀二

(愛媛大学 総務部人事課人事政策チームリーダー)

大東文化大学を卒業後、民間会社を経て愛媛大学事務職員に採用。高知大学、弓削商船高等専門学校での勤務を経験後、愛媛大学に復帰。主に人事、給与の業務に従事し、平成24年度から現職。職員の採用活動や人事制度の企画・立案に取り組んでいる。SPOD講師養成研修修了生。

■プログラム概要

職場等で後輩ができたなら、役職についていなくともリーダーとしての対応を行わなくてはなりません。そのために、先輩であるあなたには後輩との真のコミュニケーション力が求められます。あなたは、日頃、同僚や後輩の何を観察していますか。相手の心身の状態を正確に把握し、適切な対応をおこなうためには、表面的な情報だけでなく、その奥にある真の情報をつかむための観察力を養うことが必要です。優れた観察力をもつ先輩(リーダー)は、周囲からの信頼を得られるだけでなく、業務の効率化やパフォーマンスの向上を実現することができるからです。本セミナーでは、グループワーク等を通して、先輩(リーダー)という立場にある者に観察力が重要である理由やチームや個人の目標達成を支援するために必要な観察力を高めるコツを学びます。

■主な受講対象

大学職員(若手・中堅)の方

■本プログラムの到達目標

1. 先輩(リーダー)として、観察力の重要性を説明できる
2. 後輩(メンバー)に関心をもつ意味と観察力の関係を説明できる
3. 日常・非日常の中での言動、表情等から観察するコツを述べるができる
4. 後輩(メンバー)との関わりの中で、観察力を活用すると効果的だと考える行動を1つ以上挙げることができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月22日(木)13:00~15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム 2階 M23教室

定 員 : 40名